

# 平成27年度 学校自己評価システムシート ( 県立白岡高等学校 )

目指す学校像	自主と奉仕の精神に満ち、社会に貢献する人間を育てる、地域から信頼される学校
--------	---------------------------------------

重点目標	1 確かな学力を育成するために、授業改善をはじめとする学力向上に関する取組を推進する。 2 学校・家庭・地域の絆を深め、開かれた学校づくりを推進する。 3 生徒一人一人の、自立する力を育む進路指導を推進する。 4 豊かな心と健やかな体を有する、明るく活力ある生徒を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月1日現在)		
年 度 目 標			年度評価(2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい授業を行うために授業改善に取り組み、生徒からも肯定的な評価を得ている。授業に対する満足度も、学年が上がるにつれて高くなっている。生徒の授業態度も概ね良好で、チャイム着席等のマナーも守られている。</li> <li>・生徒の学力の差に応じた組織的な体制を整え、基礎基本の徹底と共に、成績上位者の支援など、生徒個々の学力を向上させることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習意欲を高めるために、さらに効果的な授業改善に取り組む。</li> <li>・生徒の学力に応じた学習環境を整え、基礎学力の定着と上位層の学力向上に取り組む。</li> </ul>	①年間2回の授業公開週間を設定し、授業改善に関する効果的な校内研修会を実施する。 ②教員が授業改善に関する研修会・研究会へ参加する。	①学校評価アンケートにおける項目「分かりやすい授業を行い、熱心に指導してる」の肯定的評価80%以上を目指す。 ②協調学習を初めとした授業改善に関する研修会・研究会に各教科から積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で授業改善に取り組むことができた。</li> <li>①アンケート項目では、1,2年生74%、3年生は86%が肯定的に回答している。</li> <li>②「未来を拓く学びプロジェクト」の研修会に今年度は4名の職員が参加し、校内においてもジグソー法の協調学習の研究授業(のべ6回)を行い、研修を深めた。</li> </ul>	A	ジグソー法などの研究授業等によって授業改善の取組は推進したが、さらに生徒の学力向上につながる取組を行い、生徒の授業に対する意欲を高める必要がある。
			①各教科・科目で適切かつ効的な小テストや課題付与を実施する。 ②学力向上プロジェクトチームと連携し、進学補習等を充実させる。 ③生徒の実態に即した学習サポーターによる学び直しの指導を行う。	①学習会や補習の実施により、学力向上及び欠点保有者の減少を目指す。 ②進学を目的とした補習等に参加する生徒を増加させる。 ③学び直しの必要な生徒への支援を行い、基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学力実態に応じた指導を工夫できた。</li> <li>①学習会や補習は計画的に実施し、欠点保有者の減少につなげた。</li> <li>②成績上位者支援のための進学補習は計画的に実施できているが、「学力向上プロジェクトチーム」として全体を把握、運営しているとは言えない。</li> <li>③学習サポーターによる補習や授業支援によって基礎学力の定着が図られた。</li> </ul>	B	学習サポーターをさらに効果的に活用し、基礎学力の向上を図るとともに、成績上位者に対する組織的、積極的な支援を推進する必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や活発な奉仕活動によって、保護者や地域住民、白岡市との連携は深まっている。生徒の登下校の様子が地域に好印象を与えている。</li> <li>・平成27年度入学者選抜においては志願倍率が1倍を上回り、欠員補充を実施することはなかったが、さらに効果的な生徒募集活動の展開が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動や部活動に関する情報発信の手段を工夫する。</li> <li>・中学校教職員、生徒、保護者への情報提供を工夫し、本校教育の特長を周知徹底する。</li> </ul>	①ホームページの更新年間90回以上、メール配信20回以上をめざし、積極的に学校の情報を発信する。 ②新聞や市の広報誌等を活用し、学校情報を広く発信する。 ③高大連携事業を促進する。	①評価アンケートにおける項目「学校からの情報提供への満足度」の肯定的評価85%以上を目指す。 ②新聞、広報誌への掲載回数を年間15回以上にする。 ③女子栄養大学との連携事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動状況や緊急連絡等、効果的な情報発信ができた。</li> <li>①ホームページの更新100回以上、TSメール配信30回以上行ったが、アンケート項目では、1,2年生75%、3年生も75%の肯定的評価であった。</li> <li>②野球部や吹奏楽部の活躍により、新聞や広報紙には多数掲載され、本校の魅力を発信することができた。</li> <li>③女子栄養大学の教授による出前授業を実施した。</li> </ul>	B	保護者や中学生が求める情報を、より効果的で、迅速に発信する必要がある。また、高大連携においては、授業だけでなく様々な取組を展開する。
			①中学校訪問、学習塾への広報を組織的、効果的に行い志願者を増やす。 ②学校説明会において入試対策講座の実施や本校生徒の有効活用等により、参加人数を増加させる。 ③J R 沿線南部地区への募集活動を強化する。	①入志願倍率が普通科、情報コミュニケーションコースともに1.1倍を上回る。 ②学校説明会の参加者を10%増加させる。 ③これまでに訪問していないJ R 沿線南部地区の中学校、学習塾への募集活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会の参加者は増加しているが、引き続き目標値の達成に向けて取り組んでいる(2月1日現在)</li> <li>①中学校への出前授業が2校に増え、地元学習塾への訪問も増加した。</li> <li>②学校説明会の参加者は前年より、12%増加した(2月1日現在)。</li> <li>③J R 沿線南部地区の中学校、学習塾への募集活動が増加した。</li> </ul>	B	普通科の少人数学級編制は効果的に運営できた。1学級の情報コミュニケーションコースに対する方策を検討し、効果的な募集活動につなげる必要がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者の進路指導に対する評価は高く、就職においては内定率100%を達成した。進学をした生徒を含めて、99%の生徒が進路を決定して卒業している。</li> <li>・生徒には、各自が希望している進路先の現状を十分に理解させ、自己の適性や能力も考慮した上で、意欲的な態度で、よりよい進路選択ができるよう指導することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分の興味関心、適性及び能力を踏まえて的確な進路選択ができるよう指導を行う。</li> <li>・より高い進路意識を持ち、チャレンジする精神を育成する。</li> </ul>	①進路オリエンテーションや進路ガイダンス及び就職指導の内容を充実させる。 ②企業訪問や、入試説明会に積極的に参加し、有益な情報を生徒に提供する。	①フリーター0名、就職内定率100%を維持する。 ②生徒、保護者対象の学校評価アンケートにおける項目「進路結果についての満足度」で肯定的評価90%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年と連携し、系統的で適切な指導を行うことができた。</li> <li>①厳しい就職情勢の中で、就職内定率100%を達成することができた。</li> <li>②アンケート項目の「進路満足度」については、生徒90%、保護者90.4%が肯定的な回答をしている。</li> </ul>	A	引き続き、生徒の進路意識の向上を図り、意欲的に取り組む姿勢を育成する。進学指導に関しては、もう少し踏み込んだ目標設定を検討し、共有していく必要がある。
			①自己の進路に対する意識を向上させ、意欲的に取り組む姿勢を育成する。	①学校評価アンケートの項目「将来の希望(夢)を実現するために努力している」で肯定的評価70%以上とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難関大学に挑戦し、合格する生徒が出たが、さらに高い意識を持たせたい。</li> <li>①アンケート項目における肯定的回答は、1年66%、2年69%、3年84%であった。</li> </ul>	B	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣が守られ、元気のよい挨拶ができる生徒が多く、部活動、学校行事も活発に行われ、成果をあげている。一方で精神的に不安定で支援の必要な生徒の入学も増えている。</li> <li>・種々の教育活動を通して達成感を抱かせ、自主自律の精神を育成することに加え、生徒個々の実態を把握し、教育相談体制を整備することが課題である。</li> <li>・保健施設部や事務室の適正な指導によって良好な学習環境が整備されているが、さらに校内美化に努める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の共通理解に基づく、一貫した指導の実践を通して、充実した学校生活を送れる環境づくりに、引き続き取り組む。</li> <li>・教育相談体制を整え、支援の必要な生徒の把握・情報の共有・支援に取り組む。</li> <li>・清掃指導を徹底し、校内美化による良好な学習環境作りに取り組む。</li> </ul>	①生徒指導部や職員研修を通して、生徒指導に関する共通理解を深め、いじめや問題行動等の早期発見、早期解決に努める。 ②部活動において生徒と関わる時間を増やし、技術力の向上、チーム力の向上を図るとともに、生徒の人間形成を主眼とした活動を推進する。	①いじめゼロ、生徒指導人数10名以内を目指す。 ②県大会以上の大会に出場する部活動11部以上、県入賞3部以上、県大会ベスト16以上5部を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導に関する職員研修会を実施し(1月27日に実施)、より共通理解を深めることができた。</li> <li>①いじめの認知件数は17件、生徒指導人数は8件、12名であった。</li> <li>②陸上部が関東大会出場、書道部が全国高校文化祭に出展、野球部が県準優勝。吹奏楽部が西関東大会金賞、東日本大会銀賞。部活動で県大会以上の大会等に14部が出場し、県大会入賞4部、ベスト16以上に1部であった。</li> </ul>	B	中途退学者は減少しているが、生徒指導人数は10名を超えた。さらに規範意識の向上と公正な態度の涵養を目指し、共通理解を図り、取り組んでいく必要がある。
			①各学年からの情報を全職員が共有し、効果的な教育相談を展開する。 ②教員が教育相談に係る研修会へ参加する。	①中途退学者を10名以内にする。 ②高相研やカウンセリングに関する研修会へ積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談委員会が発足し、スクールカウンセラーによる相談を計画的に実施することができた。</li> <li>①中途退学者は4名(2月1日現在)</li> <li>②教育相談の研修会に計画的に参加することができた。</li> </ul>	A	支援の必要な生徒の情報の共有と効果的な支援について、さらに推進させる必要がある。
			①清掃用具の整備やきめ細かな清掃指導を行い、校内の美化に努める。	①校内全域において清掃が行き届いているか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内美化とごみの分別に努めた。</li> <li>①清掃が行き届いている場所と、さらに取組を強化すべきところがある。</li> </ul>	B	保健施設部、環境整備委員会を中心に、良好な学習環境作りをさらに推進する必要がある。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成28年2月5日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>生徒の授業に対する肯定的評価が1、2年生よりも3年生の方が高いというのは、学年が上がるにつれて、満足度も高まるということで評価できる。これからも、教材等に工夫を凝らすなど、授業改善に取り組み、生徒にとってよい授業を行ってほしい。</p> <p>課題発表や検定のような、生徒の力を伸ばす「場」をたくさん設けてほしい。</p> <p>白岡高校は地元根付いた学校であり、ボランティア活動においても高く評価できる。「学校からの情報提供」については、ホームページの更新や新聞等への掲載の回数からすると、昨年度よりもかなり改善していると思われる。生徒募集についても、学校説明会の参加者が増加し、地道な活動の成果が出ている。さらに「面倒見のよい学校」「入学してから伸びる学校」をPRしてほしい。</p> <p>「進路満足度」が高いのは、先生方の面倒見の良さの現れである。公募推薦でチャレンジする生徒が増えているということも、進路指導がよい方向に向かっているということである。指定校については、今後も開拓を推進し、薬学部であるとか、他にも学部を増やしてほしい。生徒募集にもつながると考える。</p> <p>県内の他校の生徒指導の状況を見ると、白岡高校は不登校やいじめの問題などでも、件数が少なく、安心して通える学校であると感じる。校内美化については、トイレをもっときれいにしてほしいと思う。改修の計画を立ててほしい。</p>	